

ご卒業 おめでとうございます



校長 小杉 栄樹

大きな希望を胸に
輝く未来に向かって

この仲間とともに
旅立ちます

3月18日、砂山小学校102回目の卒業証書授与式が挙行されました。6年生40名が、6年間の小学校課程を終え、砂山小学校を巣立ちました。ご卒業おめでとうございます。



15日には、1～3年生と6年生とのお別れ式を行いました。6年生への感謝と応援の気持ちがいっぱい詰まったとても素敵な式でした。

そして、本日の卒業式。保護者の皆様、4・5年生、教職員に見守られる中、6年間の思い出の詰まったよびかけと合唱「旅立ちの日に」「未来へ」。リーダーのバトンを受け継ぐ4・5年生のよびかけと合唱「空も飛べるはず」。そして、参加者全員による「蛍の光」の斉唱。卒業証書を受け取る6年生の顔には、



「中学生になってもがんばるぞ!」という強い決意が感じられました。感動いっぱいの卒業式でした。

誰もが想像しえなかったコロナ禍という大変な状況乗り越え、6年生の子供たちは、学習活動はもちろん、清掃、委員会、クラブ、集会等々、どんな時も学校のリーダーとして、砂山小学校を引っ張ってくれました。6年生の子供たちの活躍が砂山小学校の新しい歴史と伝統を築いてくれました。とても心強かったです。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。子供たちの健やかな成長と安心、安全な生活のためにご支援ご協力をいただいたこと、心より感謝申し上げます。砂山小学校で学んだ誇りを胸に、中学校でもたくましく成長してほしいと願っています。



カイロス ～トライ・アンド・エラー～



3月13日(水)に串本町にある「スペースポート紀伊」からロケット「カイロス」が打ち上げられました。和歌山県初のロケット打ち上げでしたので、砂山小学校では、全校児童が体育館に集まり視聴しました。残念ながら失敗に終わりました。「トライ・アンド・エラー」という言葉があります。「試行錯誤」「目的達成や問題解決のために、様々な方法を試し、その失敗から学ぶ」という意味です。打ち上げに携わってきた全ての方々に敬意を表するとともに、次こそ成功をめざして、研究開発を続けていただきたいと思います。「失敗は成功の母」です。宇宙には夢があります。ネバー・ギブアップ!「カイロス2号」が、和歌山の地から、宇宙に向かって飛び立つ日を心から願っています。



誰かのために～6年生奉仕作業～

6年生の子供たちが、卒業を前に、校舎や砂山公園の清掃活動に取り組みました。6年生は、1年間「誰かのために」をテーマに様々な活動に取り組みしました。砂山公園の清掃活動では、地域の方々にも声をかけていただきました。地域を愛し、奉仕する心を大切にできる中学生に成長してほしいと願います。



「大海の一滴(ひとしずく)」

～マザー・テレサの言葉～

マザー・テレサは、インドを中心に貧しい人々や孤児、病人の救済に献身しました。その活動は高く評価され、1979年にノーベル平和賞を受賞しました。



「私たちのしていることは大海の一滴(ひとしずく)に過ぎません。だけど、私たちがやめたら確実に一滴が減るのです。」

東日本大震災の時、夏休みを利用しボランティア活動に行った学生が、「力強く復興に取り組む地元の人たちに逆に勇気をいただいた。忘れられない貴重な夏休みになった」と話していました。小さな親切や善意が集まり、愛の大海となります。自分が注いだ小さな一滴が大海をつくり、その愛の大海に包まれ自分自身も幸せを感じる。素晴らしいことです。「思いやり」「まごころ」「おもてなし」、優しい言葉はたくさんあります。いつも心にその気持ちをもち続けてください。卒業生の皆さんの未来に幸多かれと心から願っています。

